

## 手足口病とは【解説】

手洗いを  
しっかりね！



いしかわ予防戦隊 うつしませんジャー  
手洗いレッド

手足口病は、ウイルスによる感染症で、  
5歳以下の乳幼児を中心に、主に夏に流行します。

### 【感染経路】

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排出されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

一度発病すると、その病因ウイルスに対しての免疫が成立します。

### 【症 状】

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などの四肢末端に水疱性の発疹（2～3mm）が出現し、発熱がみられることもあります。

基本的には、数日間のうちに治癒します。

まれに髄膜炎、脳炎などの合併症が生じることもあります。

### 【治 療】

特別な治療法はなく、大部分は発疹のみの軽い症状の病気なので、経過観察も含め、症状に応じた治療となります。

まれに、髄膜炎などの合併症を伴うこともあるため、高熱、頭痛、嘔吐などの症状がみられた場合は、すぐに主治医に相談しましょう。

### 【予 防】

一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりと、排泄物を適切に処理することです。

治った後も比較的長い期間、便の中にウイルスが排出されます。また、感染しても発病しないままウイルスを排出している人もいると考えられることから、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。